見 本

推　薦　書

令和　　　年　　　月　　　日

産業医科大学長　殿

　　推薦者（所属）

　　　　　（職名）

（氏名）　　　　　　　　　　　　　（自署）

* ○○○君（氏、先生）は、……………

見 本

　クリップで

　綴じること。

　ホッチキスは

　不可。

教 員 個 人 調 書

　　　　　　　　　（１）　履歴書

　　　　　　　　　（２）　教育研究業績書

氏　名　　　産　業　　花　子

注）上記のとおり、教員個人調書の表紙を必ず作成のこと。

1. 表紙、②履歴書、③教育研究業績書を作成のうえ、左上端をクリップで綴じること。

ホッチキスは不可。

履歴書の記載要領

　別紙の記載例に従って、MSワードを使って作成してください（氏名の自署部分を除く）。

用紙の規格は、次のとおりとします。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| Ａ４版  用　紙 | 上余白 | ３０ｍｍ程度 | フォントサイズは、１０.５ポイント |
| 下余白 | １０ｍｍ程度 |
| 左余白 | ２５ｍｍ程度 |
| 右余白 | ２５ｍｍ程度 |

　記載にあたっての注意事項は次のとおりです。

1. 氏名等について

　　・住民票記載事項証明書、在留カードのとおりに氏名を記載し、ふりがなを記載すること。

・性別の記載については任意とする。

　　・記入時現在における年齢を記載する。

　　・電話番号は日中連絡がとれるものも記入のこと。

　　・E-mailアドレスは文書添付が可能なものを記入のこと。（携帯不可）

1. 学歴について

　　・高等学校入学から記載する。

　　・大学は、学部名、学科名を記載する。

・大学院は、研究科名、専攻名、課程名を記載する。

・研究生等の研究歴を記載する。

1. 免許・資格について（免許証の写しを添付する。）

　　・関連する専門分野に関する資格(認定番号)についても記載する。

1. 学位について（学位記の写しを添付する。）

　　・修士以上の学位について、記載する。

* 授与された大学名、授与年月日及び学位記番号を記載する。

1. 職歴について

　　・海外留学（外国の大学等で研究に従事）は、職歴欄に記載する。

　　　なお、外国の大学院等に在学し、博士等の学位を取得した場合は、学歴欄に記載する。

履　歴　書

写真添付

縦　4cm

横　3cm

ふりがな　　　さん ぎょう はな こ

氏名　　　産　業　 　 花　子

生年月日　　　昭和○○年○○月○○日（○○歳）　女（性別記載については任意）

現住所　　　〒８０７-８５５５　北九州市八幡西区医生ケ丘１－１

　　　　　　　ＴＥＬ：０９３（６０３）１６１１

携帯：０８０－１２３４－５６７８

E-mail：○○○○@○○○○

学歴

　昭和○○年○○月　　○○県○○○○高等学校入学

　平成○○年○○月　　同上卒業

　平成○○年○○月　　○○医科大学○○短期大学部看護学科入学

　平成○○年○○月　　同上卒業

　平成○○年○○月　　○○大学○○学部○○学科入学

　平成○○年○○月　　同上卒業

　平成○○年○○月　　○○大学大学院医学研究科○○学専攻修士課程入学

　平成○○年○○月　　同上修了

　平成○○年○○月　　○○大学大学院医学研究科○○学専攻博士課程入学

　平成○○年○○月　　同上修了

免許・資格

　平成○○年○○月　　第○回看護師国家試験合格　看護師免許（看護師籍登録第○○○○号）

　平成○○年○○月　　第○回保健師国家試験合格　保健師免許（保健師籍登録第○○○○号）

　平成○○年○○月　　○○教諭免許（第○○○号）

学位

　平成○○年○○月　　修士（○○学）の学位授与（○○大学　第○○号）

　平成○○年○○月　　博士（○○学）の学位授与（○○大学　甲第○○号）

職歴

　平成○○年○○月　　○○大学病院（○○科）看護師に採用

　平成○○年○○月　　同上辞職

　平成○○年○○月　　○○市衛生局○○保健所保健師に採用

　平成○○年○○月　　同上辞職

　平成○○年○○月　　○○大学　○○学部○○学科　助手に採用

　平成○○年○○月　　○○大学　○○学部非常勤講師 ( 担当 : ○○学 ) 平成○○年○○月まで

　平成○○年○○月　　○○大学　○○学部○○学科　助手　辞職

　平成○○年○○月　　○○大学　○○学部○○学科　講師に採用

　　　　　　　　　　　　　　　　　　現在に至る

所属学会

　平成○○年○○月　　日本○○学会

社会における活動等

　平成○○年○○月　　日本○○学会

　平成○○年○○月　　日本○○学会雑誌編集委員会委員

　平成○○年○○月　　厚生労働省○○審議会委員（～平成○○年○○月）

賞罰

　なし

———————————————————————————————————————————

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　上記のとおり相違ありません。

　　令和　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　　名　　　　　　　　　　　　　　　　（自署）

教育研究業績書の記載要領

　別紙の記載例に従って、MSワードを使って作成してください（氏名の自署部分を除く）。

用紙の規格は、次のとおりとします。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| Ａ４版  用　紙 | 上余白 | ３０ｍｍ程度 | フォントサイズは、１０.５ポイント |
| 下余白 | １０ｍｍ程度 |
| 左余白 | ２５ｍｍ程度 |
| 右余白 | ２５ｍｍ程度 |

　記載にあたっての注意事項は次のとおりです。

1. 表紙として「教育研究業績書内訳」を作成すること。
2. 以下の区分で、別葉として発表年順に記載し、それぞれ一連番号を付すこと。

学位論文には◎印を、提出代表論文には○印を付すこと。

また、印刷中の論文については、その旨を記載し、掲載受理証明書（写）を添付すること。

1. 教育研究業績書は、次の項目について、それぞれ別紙を用いて記載のこと。

　　Ⅰ　著　書

　　Ⅱ　学術論文

　　Ⅲ　学会発表等

（学会発表は、本人が演者であるものだけに限って記入のこと。なお、発表多数の場合は主要なもの１０件について記入し、その他は「上記他○○回」と記入のこと。）

※１　上記Ⅰ～Ⅲのすべてについて、要旨の記入は不要。

※２　記入にあたっては、それぞれの項目の記入例にならって記入すること。

※３　著者名（全員）、論文タイトル、雑誌名等は、それぞれ改行すること。また、本人名の下にはアンダーラインを引くこと。

※４　学会発表等の抄録は印刷されていても論文には含めない。ただし、国際学会等でfulltextがproceedingまたは単行本として印刷されたときは、論文や著書の項にも改めて含めること。

※５　講師（学内講師を含む。）以上に採用、昇任等の場合、教授は主要論文１０篇、准教授は５編以上１０編以内、講師は５編以内の別刷を提出すること。

※６　外国雑誌の略名は、List of Serials Indexed for Online Users(National Institutes of Health,National Library of Medicine)に準じること。

Ⅳ　競争的学術研究費の交付、特許取得等

（研究課題、年度、交付機関名および代表・分担の区別）

教育研究業績書　内訳

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　　年　　月　　日

氏　　名　　　　　　　　　　　　　　　　　　（自署）

Ⅰ　著　　書　　　　　○○編（うち欧文　　　　　○○編）

Ⅱ　学術論文　　　　　〇〇編（うち欧文　　　　　〇〇編）

Ⅲ　学会発表等　　　　○○編（うち欧文発表　　　○○編）

Ⅳ　競争的学術研究費の交付、特許取得など　　　　○○件

教育研究業績書

Ⅰ　著　　書　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名　　産 業 花 子

———————————————————————————————————————————

　１　Sangyo H :

　 Clinical nursing practice.

Community health nursing, Hundsfield H ed, Oxford Press: pp99-102, 2005

　２　浅川 二郎，産業 花子 :

　　　糖尿病患者のケア．

　　　看護学体系, 山川満監修, 看護社 : 21-28頁，2006

　３

　４

教育研究業績書

Ⅱ　学術論文　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名　　産 業 花 子

———————————————————————————————————————————

○１　Sangyo H, Asakawa Ｊ:

Effects of web-based training on psychological distress: A randomized

Controlled trial.

Preventive Medicine 21 (5): 296-301, 2006（査読あり）

　２　産業 花子：

　　　労働者における主観的健康感とレジリエンスの関連.

産業ストレス研究14 (8): 96-105，2010（査読あり）

◎３

教育研究業績書

Ⅲ　学会発表等　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名　　産 業 花 子

———————————————————————————————————————————

　１　Sangyo H, Asakawa J :

Weekly and seasonal variation in frequencies of occurrence of sudden deaths among

　　　Japanese workers.

The 10th International Conference on Occupational Health, Seattle, USA, 2010

　２　産業 花子：

　　　地域の精神保健向上にむけた集団認知行動療法の効果.

　　　第20回　日本ストレス学会学術総会，北九州，2010

　３

教育研究業績書

Ⅳ　競争的学術研究費の交付、特許取得など　　　　　　　　　　　　氏　名　　産 業 花 子

———————————————————————————————————————————

　１　科学研究費補助金　○○研究　　課題番号○○○○○○○

　　　○○年度～○○年度

　　　研究課題：○○○○○○○について

　２

　３

　４

　５